



古稀・卒業50周年を祝う 秋高33卒、母校で特別授業も

九月十八日から十九日全国から八十九名が集う。初日、なつかしい秋田駅前集合。五十年前には「幻の手形山の新校舎」であった母校を表敬訪問。在校時三年間担任をされた畑澤潤一先生に願ひ、特別授業を開催。「孫達の算数と数学について」、ピタゴラスの定理を学び、古稀を迎えこれからの過ごし方など多くの示唆を含んだ名講義にただただ感動。菊谷校長より「学校概要」のご説明、仙波事務局長のご案内で校史資料館、同窓会羽城館を表敬訪問。母校の歴史に改めて感銘。その後、主会場「サンルーラル大潟」へ。年次総会、記念写真撮影し休憩。午

つどい

後六時より恩師畑澤先生、山谷先生をお招きし、石川裕久、脇坂良子両君の司会により「祝う会」を開催。物故者への黙祷、佐藤満雄代表幹事の挨拶、懐かしい写真のスライド上映、熊谷光太郎（東京代表）・金内信（関西代表）両君による乾杯、四斗樽二個の

魅力的な 事業を計画

札幌支部 来年は創立30周年

去る十月十八日（土）、ホテルノースシティ（札幌市中央区）において札幌支部総会が開催された。今年は本部・母校から豊口会長、山谷副会長、石井副校長、仙波事務局長を来賓としてお迎えし、総勢三十名であった。

加賀屋誠一支部長（昭和四十一卒）の挨拶では、播磨屋前支部長（昭和三十五卒）が札幌支部顧問となったことが報告された。その後、支部会則の改訂（案）が議題として提出され、全会一致で承認された。豊口会長のご祝辞の後、石井副校長からは母校の近況についてお話があり、現役生の文武両面での活躍や、今後の

鏡開き、「なまはげ郷神楽」の太鼓による歓迎。数十年前ぶりの参加の方も多く、記念で作った秋田杉の柙で樽酒を注ぎ、深夜まで盛大に語り合う。翌日、五十年前は湖底であり、干拓で変貌した大潟村内を入植者のご案内で見学（女子十一名は別コースで男鹿を



秋高の目標などが紹介された。今回、総会参加者には今野陽三さん（昭和二十・五卒）から自著が贈呈され、書名が「美しかった国、日本」となった経緯が説明された。

祝宴は終始和やかな雰囲気で見送り、最後は校歌と「フレ！フレ！秋高」のエルが会場内に高らかに響いた。札幌支部は平成二十一年に創立三十周年を迎えます。ま

巡る。干拓博物館、刈り入れ直前のあきたこまちの黄金の稲穂にうっとり、懐かしい「はたぎ」も大歓迎。鑑賞温室を見学し、午後一時出発点の秋田駅前へ。再会を約し、同期生の更なる健勝を願いつつ散会する。（石川、佐藤記）

だ総会に参加されたことがない方（特に二十〜五十歳代）も参加いただけるよう、役員会では魅力的な記念事業を計画中です。是非ご参加下さい。（昭和六十一卒 佐々木宏志）

【完全予約制】 “未病を治す”

西治療院

院長 小林正行

秋田県潟上市天王字追分西1-20
TEL & FAX : 018-872-1228

～もっと快適な未来環境の領域へ～

 山岡工業株式会社

■本社 秋田市御所野湯本二丁目1-5

TEL 018-826-1616 FAX 018-826-1565

URL <http://www.yamaoka-ind.co.jp/>

■支店・営業所 / 仙台市・北秋田市・横手市